

## 第3期まちづくり推進会議の委員から提出された意見・アイデア

その他推進会議で取り組むべき協働をテーマとした事業について	
(参考)	<p>これまでの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働をテーマにして「なるほどこれが自治で、自治基本条例なんだ。」ってことがわかるような事業をやってみたらどうか（前委員）</li> <li>・ 協働を実感できる具体的事業に取り組むべきだ（前委員）</li> <li>・ すみよいまちづくりアンケート 住民自治についての調査結果（平成24年1月）</li> </ul> <p>○ 具体的な事業については①まちづくり事業の名称、②事業の概要、③想定する事業主体、④期待するまちづくり推進会議構成員の役割、動き方、⑤町にはどういう関わり方を求めるかなどを記入してください。</p>
提出のあった意見・アイデア	
	対応方針案
1 「まちづくり」という命題で「協働」がテーマでは、範囲が広すぎ、意見がまとまらない。しかし、現状の問題点、課題、今後の町づくりを考え、「○○」について具体的な事業を行ってはどうか。○○は何でも良くてやってみたら、反省点や課題が見つかったり、○○より△△について事業をすべきだというような意見が出てくるはずである。	今後具体的な案が提出されれば幹事会で対応を検討する。
<p>2 「ゲートボールに参加しワイワイ賑やかに楽しんでいるお年寄りが多い町」、「囲碁や趣味にコミュニティーホールが老人で熱気ムンムンの市」、これらの市町村医療費公的負担が極端に減少したとの報道がある。と同時に、介護を受けるお年寄りが減ったとも伝えている。この事実は何を意味しているのであろうか。お年寄りが生きがいを持って生活することの大切さを語っているといえるだろう。超高齢化、超少子化が続くことから今までの水準を維持した行政執行履行は、今後さらに困難を極めると思われる。</p> <p>協働のまちづくりの一環として、65歳以上で元気で気力のある人をボランティアで行政サービスに取り込む制度作りに取り組むべきである。経験豊かで元気な高齢者の方々の能力や慧眼を無償で発揮できるシステム作りが、新しい日本の文化になるであろうし、寒川町の文化にもなる。その在り方の発掘、開発が急務である。</p> <p>これらの仕組みを構想し、実現システムのアイデアに智慧をしぼることが協働によるまちづくり推進全般を検討する有効な方策の一つの柱となったり、議論の触媒的な役割になったりする。</p> <p>スローガンや掛け声だけでは実行に移せない。変化を求める勇気をもたなければ飛躍はない。それが、「町民皆の居場所をつくる」ことになり、「地域が必要な人を出現させる」ことになる。</p> <p>「肥やしとなるべく高齢者の生きがいの姿とかたち」      ——行政と高齢者の協働体のありよう——      町と住民参加(NPO等)のコラボで町政の執行を。</p>	アイデアを町民にわかりやすく提案し、ボランティアとして参加を求めていくために、構想を作成する必要がある。このため自主的な研究部会(プロジェクトチーム)を設置する。

<p>3 推進会議が取り組むまちづくりの協働事業はいろいろな分野の審議会、協議会と競合を避けつつ、先導的なまちづくり事業とする必要があり、また全町的に町民の参加が期待できるものが望ましいので、明るくて楽しさのある①ハロウィン（仮装）事業を提案する。</p> <p>最終的には4つの小学校区で展開をするが、手始めは今年度実施した南小学校区で実施したらどうか。</p> <p>② 仮装した子ども達が学校から各地域に帰ってきて、地域内のお菓子をくれる家を回るものだが、ルートの要所要所でおじいちゃんおばあちゃん大人が拍手で子ども達を迎えるというもの。</p> <p>③ 町長部局（協働担当）、教育委員会、推進会議等の協働事業として実施する。</p> <p>④ 実行委員会の構成員となり事業企画、実施等相応の役割を分担する。</p> <p>⑤ それほどの予算はかからないと思うが予算措置をし、担当職員のモチベーション及び活動を支援することが条件となる。</p> <p>要は協働のまちづくりが軌道に乗るまでは町当局が先導的にモデル事業等で汗をかき、見せなければダメで、町民まかせでは魅力的で協働する寒川町の実現は道が遠い。</p>	<p>町からの回答を踏まえ幹事会で対応を検討する。</p>
<p>4 「なるほどこれが自治で自治基本条例なんだってことがわかるような事業をやってみたらどうか」、「協働を実感できる具体的な事業に取り組むべきだ」という意見に対応する事業として、</p> <p>①及び②</p> <p>現在、指導的地位に女性が占める割合を30%以上とするポジティブ・アクション（積極的改善措置）を国が進めているので今後自治体の議会でも導入の動きが出てくると思われる。</p> <p>そこで、全国に先駆けて寒川町議会で条例化し、実現できれば町のステータスの向上等いろいろなプラス効果が期待でき、町政参加の推進にも資することからさむかわ男女共同参画プラン推進協議会の賛同が得られるのであれば両方でプロジェクトチームを組織し、協働して研究し、成果を町議会に提言することを目的とする。</p> <p>③ まちづくり推進会議とさむかわ男女共同参画プラン推進協議会の協働事業として実施する。</p> <p>④ まずは情報収集がメインの仕事なので国等にも出かける時間的余裕のある委員でプロジェクトチームを構成し、中間段階でパネルディスカッションを実施することになれば全委員の協力が必要となる。</p> <p>⑤ プロジェクトチームの事務局として機能することを町として容認するとともに、職員の出張旅費等若干の予算措置が必要となる。</p>	<p>会長名で4及び5についてさむかわ男女共同参画プラン推進協議会に協議依頼し、賛同が得られるのであれば自主的な研究部会（プロジェクトチーム）を設置し、研究していく。</p>

<p>5 あらゆる政策意思決定の場に女性の参加比率30%を政府から各自治体へ努力義務として出されているので、町としてこのことにどのように取り組もうとしているのか、全く見えてこない、ぜひ公表してほしい。</p> <p>秦野市では市議会基本条例第4章市民と議会の関係第8条(1)男女が等しく議会に参画し、政策等を提案する機会を確保することができる環境の規定で</p> <p>「他の先進国の多くは、政治や行政の場で男女共同参画のための様々な（クオータ制・パリテ法）制度を導入し、女性の管理職の割り当てや男女同数制などの積極的改善措置を行っています。そのための環境整備に努める」との条文を設けている。</p> <p>市民に対して誰にも議員として活動する機会のある開かれた議会であることを誰もが議会に参画できる環境整備に努めることとしている。</p> <p>寒川町では他市町村に先がけて「202030プラン」を宣言することで町の先進性をアピールすることにもなる。</p>	
<p>6 災害に対する強いまちづくりをテーマに連絡網の徹底、河川の強度、各々の役割を十分に把握する必要性、部署を移動した時点で後任に十分現状を伝達することなどを検討していく。</p>	<p>重要なテーマであるが、既に自治会単位で取り組みが行われているのでまかせることとしたい。</p>
<p>7 昨年の花火大会はとても素晴らしいものでした。町民の一人一人が関心を持っていたと思う。行政も広報車など協力できることで協働のイベントに拡大していくべき。</p>	<p>町に伝えていくこととする。</p>
<p>8 首長も職員も議員も町民も、お互いに知恵を出し合い、話し合うことができるようにならないと、新しい1歩につながらない。これまでに様々な会議に参加している方達は、私自身も含めて前例や慣習にとらわれていることも多いと感じる。</p> <p>まちづくり推進会議は、町民の町政への参加を進めるために、新しいことを恐れずに会議が進められるようにすることで、次につながっていく。この会議が町民へフォーラムのようなものを開催してもよい。学識経験者（会長）や自治体の職員、先例自治体のまちづくり推進会議と同様の委員会の方に参加してもらうことで、町民も委員も視野を広げて考えることができるようになる。</p>	<p>町政への関心を高め、推進会議の存在を知らせる効果もあるのでふさわしいテーマが提案されれば幹事会で具体化に向け検討していく。</p>